

春高らしいベルカント・フォームを!

●春日部高校へ富田さんの出張講座!

本日6日(金)午後4時~7時過ぎまで約3時間、「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業の一環として県立春日部高校にて富田千種さん(バリトン歌手)によるグリークラブへの音楽指導が行われました。

春日部高校への出張講座は、昨年が7月と10月の2回、そして今回で3回目でしたが、音楽音痴の私でも回を追うごとに生徒たちがレベルアップしていることが分かり、嬉しい限りです。

* *

◆歌の基本は腹式吸法と口の開け方



〔写真①: 発声練習のスタート〕



〔写真②: 腹式呼吸の確認〕



〔写真③: 手を使って息の流れを確認する〕



〔写真④: 2・3年生で課題曲を歌い、1年生は見学〕

富田さんの指導は発声方法から始まります。グリークラブの皆さんが普段やっている発声方法を見せてもらうことからです。昨年度の2回の指導は約2時間に及ぶ発声練習でした。その甲斐があつてか、2・3年生はしっかりと腹式呼吸ができていました。そこで1年生に伝授、入部2週間の1年生には横隔膜を使った腹式呼吸は少々難しかったようです。次に「スタッカート」で「ア」を発声、続いて「レガート」で母音の発声を行います。

富田さんから「如何にすれば自分が楽に声を出すことができるかを考えてください。音量を出す練習ではなく、楽な発声方法を学ぶことが大切なのです。」

声を出すためには、横隔膜を使った腹式呼吸で息を出し、「ア・エ・イ」では顎を上下に開けること、「ウ・オ」では口を横に明るく暗くと開くことで声楽に出来るそうです。富田さんは、手を上から下へ動かしながら声を出す発声法を使って、顎の開け方と息の出し方を指導されます。富田さん自身がウィーンで学んだ発声方法だそうです。

* *

◆自分たちにあったベルカントを

そして、昨年も富田さんが仰っていたのですが、「全国大会に出場するレベルの高校には、その学校独自の声を楽に出すことのできるフォーム、それと音楽を聴き詩を読んで自分たちの気持ちを表現する力、そういうベルカントがあるのです。ぜひ、『春日部高校のベルカント』を作ってください。全国大会に出る学校も春日部高校も生徒個々の力は大きく変わらないのです。違うのはそれぞれの学校に備わったフォームでありシステムなのです。早く『春日部高校のベルカント』を構築してください。」と…。

約1時間の発声練習を終えて『春日部高校校歌』です。昨年の7月に聴いた校歌と比べると格段の進歩が伺えました。素晴らしいですね。

続いて明後日8日に和光市民文化センターで開催される「第3回埼玉県高等学校男声合唱団合同演奏会」で披露する曲を歌っていただきました。予定では30分程度の予定でしたが、終わってみると延々と約1時間半になりました。

富田さんからは「皆さんが、この歌詞を読んでどのように感じたのかを話し合ってください。韻を踏んでいる言葉の味わいを噛みしめてください。自分たちがこの曲、この言葉で聴衆に何を伝えようとしているか、そこを考えてください」と…。毎回ステップアップしてくれる彼らと、次回お目にかかるのが楽しみです。

帰りがけに私から「疲れませんか」と伺うと、富田さんは、「彼らへの指導はぜんぜん疲れませんね。何故なら彼らには癖が無く、彼ら自身が一生懸命に私の話を聴き、理解しようと努力し、さまざまなことを身に付けようという意欲が感じられるからです。ぜひ、秋にも指導に来ましょうよ」とのことでした。今年度の出張講座は5回なのですが…。

第3回埼玉県高等学校男声合唱団合同演奏会

主催: 埼玉県高等学校文化連盟 合唱専門部会

1st 川越高校音楽部 校歌 「輝け希望」

男声合唱曲 「輝け希望」

2nd 春日部高校音楽部 「青春讃歌」 「新しい時代に」 「情」 「時の旅人」

男声合唱とピアノのための 「わたしの心」

3rd 蕨谷高校音楽部 男声合唱のための 「愛の唄」 より 「いつか夢を」 「サタタキ」 「サタタキ」

4th 慶應義塾志木高校ワグネル・ソライエター男声合唱団 男声合唱曲 「心の唄」 より 「愛」

男声合唱とピアノのための 「わたしの心」

5th 前和高校グリークラブ 「わたしの心」

合同演奏 男声合唱組曲 『恋のない日』

2016年5月8日(日)

開場 12:30 開演 13:00 入場無料

和光市民文化センターサザンアリーナ

〔県立春日部高校・春日部高校・蕨谷高校・川越高校・前和高校・慶應義塾志木高校の各校より、約15分ずつの演奏が予定されています。各校の演奏順序は当日のプログラムをご覧ください。〕